

平成 20 年 3 月 4 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

区分：

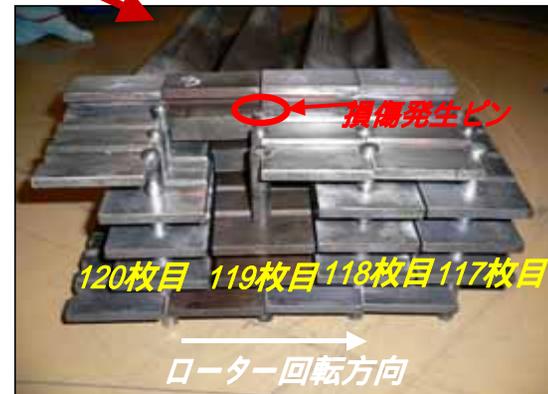
号機	7号機	
件名	タービンの詳細点検状況について	
不適合の概要	<p>定期検査中の当所7号機では、平成19年12月1日よりタービン本体の詳細点検を実施しており、点検の一環として、平成20年1月8日から1月19日までに各タービン[高圧タービン、低圧タービン(A)、(B)、(C)]動翼の翼付け根部全数を対象に超音波探傷試験^{*1}を実施しました。</p> <p>当該試験の結果、低圧タービン(C)第14段のうち、1枚の動翼において、翼付け根部止めピン^{*2}1本に欠陥を示す指示を確認したため、その後、詳細に調査するために動翼4枚(当該翼および当該翼と一体で固定されている動翼)を取り外し点検したところ、3月3日、当該止めピンで固定されている動翼1枚のフォーク部(翼付け根部)が一部破損していることを確認しました。</p> <p>*1：超音波探傷試験 材料の欠陥を検出するための非破壊検査であり、欠陥の有無により超音波の反射の仕方が違うことを利用して、ひびの判定やひびの深さを測定する。</p> <p>*2：翼付け根部止めピン 低圧タービン(C)第14段の翼(動翼)の付け根部は5本のフォーク型をしており、そのフォーク部を主軸側に差し込み、3本の止めピンで固定している。</p>	
安全上の重要度 / 損傷の程度	<安全上の重要度> 安全上重要な機器等 / <u>その他設備</u>	<損傷の程度> 法令報告 法令報告不要 調査・検討中
対応状況	今後、新潟県中越沖地震との関連を含めて原因を調査します。	

柏崎刈羽原子力発電所 7号機 タービンの詳細点検状況 (その2)

シュラウド(動翼4枚を1群として固定)



取り出した動翼4枚



第14段タービン側動翼抜取部

固定ピン差込み穴部で損傷



フォーク健全部(118枚目)

フォーク損傷部(119枚目)

フォーク損傷部(119枚目)